



平成21年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社ミスターマックス
代 表 者 名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問 合 せ 先 取締役経理本部長 中野 英一
(TEL 092-623-1141)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年3月期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年10月22日に公表いたしました連結業績予想および平成20年7月30日に公表いたしました個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	100,480	1,200	1,400	200	5.73
今回修正予想 (B)	99,600	850	1,000	△200	△ 5.99
増減額 (B - A)	△880	△350	△400	△400	—
増減率 (%)	△ 0.9%	△ 29.2%	△ 28.6%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	99,558	719	879	665	18.74

(2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	97,120	1,200	1,400	200	5.68
今回修正予想 (B)	96,500	850	1,000	△ 200	△ 5.99
増減額 (B - A)	△ 620	△ 350	△ 400	△ 400	—
増減率 (%)	△ 0.6%	△ 29.2%	△ 28.6%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	96,811	765	932	655	18.45

2. 修正の理由

当第3四半期連結会計期間（平成20年10月～12月）において、食品、洗剤、こたつ布団、寝具、キッチン用品など、生活関連商品の販売が好調でしたが、TVゲーム関連商品や、腕時計、液晶TVの販売額が前年を下回り、不動産賃貸収入を含めた連結営業収益は、前年同期比100.4%と前年を上回ったものの、当期初からの累計（平成20年4月～12月）営業収益は、前年同期比99.7%に留まりました。

一方、利益面においては、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により棚卸資産の評価算定を行ったため、棚卸資産の残高が増える第3四半期末においては、値下げの影響が前年に比べ前倒しで発生しているものと見られ、第4四半期においては、前年に比べ売上総利益率の改善要因になると考えられます。

第4四半期においても、引き続き生活関連商品の販売が好調ですが、価格競争は厳しさを増しており、当期の業績予想は非常に難しい判断となりますが、前回公表時（平成20年10月22日公表）の予想に対して、連結営業収益前期比100.9%を100.0%に、売上総利益率21.4%を21.1%に修正することを主な事由として、業績予想の修正を行います。

（注）本資料における業績予想は、当社の本資料発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって本資料記載の業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上